

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科		
科目名称	肢体不自由児教育総論						授業形態		講義	
科目コード	750142	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	山之内 幹								ICT活 用	○
授業概要	教員養成課程で学ぶ各教科の授業を基礎にし、特別支援学校で取り扱う各教科、自立活動、合わせた指導(知的障害)について解説を行う。特に肢体不自由特別支援学校に多く在籍している知的障害と肢体不自由児の重複障害児に対して行う各教科等を合わせた指導の一つである生活単元学習は、教育実習でもよく取り扱われる内容なので、実際の現場での授業の様子などを紹介しながら説明を加えていく。また教育実習に向けての肢体不自由児への具体的な支援(介助)の方法、コミュニケーションのとり方、教具作りの方法についても実技を通して学ぶ。									
関連する科目	病弱児の心理・生理・病理 病弱児教育総論 肢体不自由児の心理・生理・病理 知的障害児教育 特別支援教育課程論									
授業の進め方 と方法	講義形式の授業だけではなく、実際の指導場面を想定し、肢体不自由児への支援の方法(リラクゼーション、アダプテッドスポーツ車いす体験Ⅱ)を実技を通して学ぶ。後半ではグループを編成し模擬授業を行う									
授業計画 【第1回】	オリエンテーション 各障害について(復習) 肢体不自由児教育とは									
授業計画 【第2回】	肢体不自由特別支援学校の教育課程 教科・領域を合わせた指導について(日常生活の指導 生活単元学習 遊びの学習 作業学習)									
授業計画 【第3回】	日常生活の指導の実際「朝の会」									
授業計画 【第4回】	生活単元学習の授業の実際「冬の遊び」									
授業計画 【第5回】	自立活動の指導の実際「リラクゼーションと姿勢作り」									
授業計画 【第6回】	実技1 自立活動 リラクゼーションの技法の授業の流し方									
授業計画 【第7回】	実技2 車いす体験Ⅱ(校外)									
授業計画 【第8回】	各教科の授業の実際 小学部「音楽」 高等部「国語」									
授業計画 【第9回】	実技3 各教科の授業の実際 体育「アダプテッドスポーツ(ドーナツゲームⅡ)」									
授業計画 【第10回】	肢体不自由児の学校生活									

授業計画 【第11回】	肢体不自由児の地域での生活と進路
授業計画 【第12回】	実技 4 模擬授業「日常生活の指導」
授業計画 【第13回】	実技 5 模擬授業「生活単元学習」
授業計画 【第14回】	実技 6 模擬授業「自立活動」
授業計画 【第15回】	まとめ 肢体不自由児教育における授業作り
授業の到達目標	肢体不自由児教育の教育課程について概要を知ることができる。さらに知的障害児と肢体不自由を併せ持つ重複障害児に対して行われる生活単元学習、日常生活の指導、自立活動の指導案を作成することができる。アダプテッドスポーツにチームで協力し合って参加することができる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外学習【予習】	予告で示された次時の内容について、資料などを読み、用語などを調べる（1時間）。また指導案（略案）を作成する
授業時間外学習【復習】	授業で学んだ内容を振り返り、要点を整理する。課題に対して、自分なりに対処しノートやレポート等にまとめる（1時間）
課題に対する フィードバック	課題に対してのレポート等についてはコメントを付して返却する
評価方法・基準	テストは100点満点（レポート・指導案・模擬授業で10～20点を含む） 評価は出欠状況、授業態度等含めて総合的に行う
テキスト	特別支援学校の指導案の書き方に関する資料を必要に応じて配布します
参考書	特別支援教育における教育実践の研究 批評社 2014 山之内幹 体育科教育（大修館）
備考	